



こぶし

令和元年8月30日

第6号

支笏湖小学校

校長 小川 亮男

令和元年度 学校重点教育目標

『実践力（できる）へとつながる学校教育活動の推進』

「見て欲しい」「よくありたい」という気持ち

校長 小川 亮男

夏休みが終わり、第2節がスタートして2週間がたちました。夏休み中に対する「朝食を食べていましたか」「午前中に、勉強することができましたが」など、全校朝会での私の質問に元気よく、明るい声で、8人の児童たちが「はい」と答えてくれました。話を聞くと、中にはできなかった日もあるようですが、それぞれが、いろんな夏休みを過ごし、楽しかった様子を話してくれました。とにもかくにも全員が事故や病気もなく、笑顔でスタートできたことをうれしく思いました。

『今日からまた、自分で「できる」「できた」を大切に、生活してください。』と声をかけました。「今日の夏休み作品の発表がうまくできた」「今日一日、笑顔で生活できた」「あいさつができた」「今日の宿題ができた」「家庭学習ができた」など、自分なりに、「できた」「できるようになった」を積み上げるように一日一日を頑張っていて欲しいと話しました。子どもたちは子供たちなりに悩みを抱え、それでも自分を鼓舞し毎日の学校生活を過ごしています。同じことの繰り返しに見える一日一日が、実のところ様々な変化をもたらし、目に見える見えないという形で、子どもたちの成長につながっています。

運動会に向けた取り組みも同じで、「何事にも、何かをするためには、準備が必要」と毎年一度はどこかで話をしています。一輪車の発表に向け、子どもたちは、夏休み中の練習に加え、今は、放課後に学校に来て個人練習する姿が、毎日のように見られます。

「よくありたい」という気持ちは、子どもにだってあります。むしろ子どもの方が強くあるかもしれません。そのためのあるべき姿、「準備や努力、そしてその達成感」が、この一輪車発表の取り組みにはあります。当日、成功した姿を見せられるべく、子どもたちは頑張っています。

作品発表会では、手をかけ、ていねいにつくられた制作物や調べたり体験したりしたものをまとめた発表物を一人一人が一生懸命に説明してくれました。どれも時間をかけ熱心に取り組んだ様子うかがえるものでした。発表した児童への質問も多く出て、近くによって作品を見たりする児童の姿も見られました。注目してもらえることは、とてもうれしいことなのですね。

夏休み作品（内容）

- おみくじルーレット付き貯金箱（制作）
- 北海道の外来種（研究）
- お湯づくりと魚とり（制作）
- 自動販売機
- えんぴつたて（制作）
- アフタヌーンティーセットと青いドレス（制作）
- さかなつり（制作）
- ケーキの作り方の本（研究）

運動会スローガン 「みんなの思い出になる運動会にしよう」

おめでとう！

令和元年度野鳥絵画展 入賞 ■銅 賞 2年

さん

■お知らせ■ インターネット環境があるなら、eラーニング（電子学習）

児童の学力や理解度に応じて自由に学習できる千歳科学技術大学が開発・提供している学習システムです。既習事項の再確認や先行した学習を「自学」することが可能で、家庭から一般申し込みができます。

https://www.chitose.ac.jp/region/e_college または 「千歳科学技術大学」で検索。

※eラーニング教材は、学校での教科書や板書だけではわかりづらかった複雑な内容もアニメーションや映像で簡単に学べる「教科書」、解けない問題もヒントでサポートし、問題を解く力をつける「演習」が取りそろえられています。